



2024年(令和6年)
3月1日発行

発行者：県立加茂高等学校 PTA
編集：広報部

*6ページ目は定時制のページです。



QRコードから加茂高のホームページを閲覧できます。



共通テスト 激励会



最高の勝利は
自分を乗り
越えることだ
プラトンの言葉 創太

「プラトンの言葉」
2年7組 市川 創太



ご卒業おめでとうございます

加茂高春秋

「新たな一歩」

ご卒業、進級おめでとうございます。

四月から新生活がスタートします。みなさん、一年前に思い描いていた自分に出会えましたか。出会えた人も、そうでなかった人も、高校生活はもちろんです。今まで努力して進んで来た道は、必ずみなさんの力になっています。しかし、新しい環境になることで、変わる大きなチャンスです。

今の自分を変えたい人、目標はあるけれどなかなかそれに近づけない人、さらには上を目指したい人。なんとなく努力するだけでは駄目です。自分が変わる事です。今、努力しても少し良くなるだけです。現状を変えてこそ、新しい自分に出会えるのです。

変化のない毎日を送っている人にとっては、また二年後も同じ景色しか見えません。生活習慣を変える、勉強の方法を変える、新たな事にチャレンジする。人それぞれだと思いますが、新しい環境でまず一歩、踏み出すことで見える景色は違ってきます。

変化を恐れず、一歩踏み出してみませんか。さらに素敵な未来にするために。

(副会長 大前 ひとみ)



一年を振り返って PTA会長 若尾 達也

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうでございます。また、保護者の皆様、お子様のご卒業を心からお祝い申し上げます。

私は加茂高校を卒業して36年目にPTA会長という大役を務めさせていただきました。私はこの1年の活動を通じて、三つの点で本当に良かったと思います。一つ目は、私たちPTAとして学校と密接に連携することで、学校の運営や教育方針に理解を深めることができたことです。二つ目は、行事や備品などを決定する際に、先生方やPTA役員の皆さんが、生徒のことをこんなに一生懸命に考えてくださっていることを知ることができたことです。これまで私はPTA役員に関わることがありませんでしたが、そのした皆さんに対して、感謝の気持ちでいっぱいになりました。三つ目は、父親として自分の息子に対して、これまで以上に関心を持つことができ、子供の成長を近くで感じられたという喜びです。

卒業生の皆さんは今、巣立ちの時を迎え、新しい未来に羽ばたいていく準備が整いました。高校生生活の終わりは新しい冒険の始まりでもあります。



森川校長先生をはじめ諸先生方、PTA役員や保護者の皆様、生徒たちが充実した高校生活を送れるよう、ご尽力いただき深く感謝申し上げます。また、地域の皆様、同窓会や後援会の皆様、いつもご支援いただきありがとうございます。ございました。



「笑顔」

校長 森川 賢二

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。また、これまで本校にお寄せいただいた温かいご支援、ご協力の心からお礼申し上げます。

加茂高校では、文武両道の校風の中、「明朗進取」「誠実努力」「親愛奉仕」の校訓を掲げて、日々の学業や部活動、生徒会活動等に取り組んでまいりました。それぞれの活動を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び力をも身につけ、生涯にわたって学び、成長することの大切さを学んでまいりました。

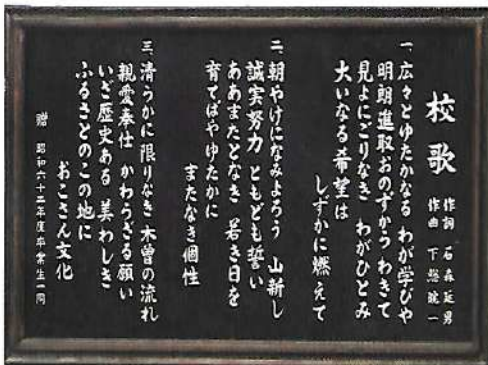
生徒たちの学業に向かう真摯な姿勢、文化祭や体育大会等の学校行事でのユーモアと創造性に溢れる発表や活動、仲間と力を合わせて勝利を目指し、懸命に打ち込む部活動の姿などから、今年の加茂高生も本当に大きく成長してくれたことを実感しています。社会情勢は益々変化し、先が読めない時代となっています。急激な少子高齢化、高度情報化、世界規模の環境問題や自然災害、紛争など、困難で複雑な問題が山積んでいます。

それでも生徒たちは、加茂高校

で仲間と共に過ごし、互いに励まし合い、切磋琢磨する中で培ってきた力をもとに、自らの人生を力強く切り拓いていくと信じています。

そして、加茂高校の卒業生として、常に相手の気持ちを考え、相手の立場に立つて行動し、皆に慕われる立派なひとになってほしいと願っています。

いつも笑顔を忘れず、これからの人生を逞しく歩むとともに、思いやりのある優しいひとになってください。みなさんの将来に幸多かれと願っています。



校歌

一 広々としたかなるわが学びや
 明朗進取のすかすか
 見よにこりなき わがひとみ
 大いなる希望は
 しずかに燃えて

二 朝やけになみよらう 山新し
 誠実努力とともも 拓い
 ああまたとなき 若き日を
 育てばやゆたかに
 またなき個性

三 清らかに限りなき 木曾の流
 親愛奉仕 かわらざる 願
 いと感ある 美わしき
 ふるさとの地に
 おこさん文化

MSリーダーズ 活動報告

生徒指導主事 酒井 宏昌

本年度のMSリーダーズは活動範囲を広げ、昨年度までの校内における活動に加え、警察署等と連携した様々な活動にも参加しました。

「あいさつ運動」

月に1回、校内昇降口で挨拶運動を行いました。登校してきた生徒にさわやかな笑顔であいさつし、一日を清々しい気持ちで送れるようにしました。

「街頭啓発活動・美濃太田駅自転車盗難防止啓発活動」

十一月にはおのかも市民まつりに合わせて実施された、子ども若者育成支援推進強調月間における街頭啓発活動に参加しました。また、加茂署と合同で、美濃太田駅利用者自転車盗難防止のための二重ロック用チェーン鍵の配布を行いました。

今年度は昨年度以上に活動が活発になりました。今後より一層の活動の充実を目指していきます。

可茂地区 生徒指導NEWS 第7号
MSI-ターズ 加茂高検
自転車盗難防止啓発活動を行いました
[Image of a bicycle lock demonstration]
今年度は、おのかも市民まつりに合わせて、美濃太田駅利用者自転車盗難防止のための二重ロック用チェーン鍵の配布を行いました。

「飛翔！」

進路指導主事

三年生の学年目標は、「飛翔！」です。進路実現は、まさに高校生活から社会への飛翔です。大きく飛び立つためには、その準備が必要で、鳥が大きく羽ばたくためには、翼を大きく羽ばたかせたり、助走を取ったりして飛び立ちます。また、小さなヒナの頃は上手に飛べなくても、何度も失敗を重ねて、成長するにつれて飛び方を覚えて、大きく飛び立ちます。

私は、三年生のみなさんが、進路実現のために職員室前や自習室で懸命に学習に取り組み姿を見てきました。また、面接練習や小論文指導など、様々な場所で夢の実現のために真摯に取り組んでいる様子も見てきました。進路に取り組みその姿は、大きく飛び立つための準備です。また、一、二年生次に総合的な探究の時間を取り組んだ研究活動や自主的な活動として取り組んだ課外活動は、大きく飛び立つための成長だったと考えます。このように、高校三年間の一つひとつの活動が、大きく飛び立つための準備でした。私はみなさんが、この準備のために努力した分だけ、苦勞した分だけ大きく飛び立ち、成長できると信じています。

さて、大学入学共通テストには、九割以上の生徒が出願しました。来年度から新課程入試に変更されるといってプレッシャーがある中で受験となりました。それでも、体調管理に努め、授業や放課後に問題演習に取り組んできた成果を発揮できるように最後までにやり切りました。ある先生が、「共通テストの対策授業で、進学先が決まっている生徒が、分からない箇所を率先して質問している様子が見られます。」と話してくれました。学年団では、「機会を見ては「受験は団体戦」と話してきました。そんな雰

水口 智人



囲気の中で、仲間とともに挑戦した共通テストは何よりも心強かったと思います。そして、この仲間とともに懸命に取り組める姿こそ、この先の世界で重要な力となっていくでしょう。みなさんの今後の大きな飛翔を期待しています。

三年生から後輩へのメッセージ

「二年生へ」

・来年から新課程で難しくなると思うけれど焦らずに。自分は基礎が足りなかったから、応用や過去問を取り組むのではなく基礎固めが大切です。

・今のうちから放課後の勉強時間を確保して習慣にしておくべき！宿題や週末課題をこなすだけでなく、習った内容の復習や過去問や予想問題集などの演習を早めに始める。いつ始めるか迷うなら、今始めるのが最善だと思う。過去に戻りたいは通じない。

「一年生へ」

・まだどの大学へ進学するか、進路が決まっていない人が多いと思うけれど、国・数・英は大切になる。部活などで忙しいと思いつけれど、毎日勉強する習慣を身につけておきたい。・少しずついいから、受験を意識した方がいい。オープンキャンパスにたくさん行くといい。・受験勉強を通して気づいたのは、「一年生からやっていたら、東大にも行けたかもしれない。一年生って凄いですよ。無限の可能性を秘めている。自分がすごいということ認め、自信をもって前に進んでください。」

理数科課題研究中間報告会

2月6日(火)に理数科2年生の課題研究の中間報告会を行いました。課題研究は、理科・数学の内容について、グループでテーマを設定し、仮説を立てた内容について実験・観察を行って検証・説明するものです。研究内容は論文としてまとめ、口頭発表でその成果を発表します。この過程で、探究力や思考力、表現力などを高めることを目指しています。今年度から2年生から3年生の7月まで取り組むことになり、2年生の段階での研究内容について発表を行いました。



発表の様子



数学



物理



地学



化学



生物



研究グループは、物理2・化学2・生物4・地学1・数学1で、内容も身近な疑問を明らかにしようとするものや、環境問題を意識したものなど多様なものがありました。時間内に研究の手順から考察までを発表することが難しく、予定時間を超えてしまうものもありましたが、研究の途中としてはよくまとまっております。来年度の最終発表会が楽しみになりました。

理数科2年生だけでなく、先生方の参加もあり、生徒だけでなく先生からも質問やアドバイスが出され、濃密な発表となりました。

令和五年度
加茂高等学校入学式



Life

夏







◎ こちらは定時制のコーナーです。

4年生が卒業を控え、今の気持ちを「川柳」で表しました。

- ・ 学校で 出会えた友達 ありがとう
- ・ 君の顔 探し求めて 空見上げ
- ・ 思い出は 心のフィルムに 保存済
- ・ 揚げたての フライドチキン 一口で
- ・ へいぼんな 何事も無い 4年間
- ・ 4年間 まだ終わらない 5年目だ
- ・ 高校を 卒業しても 友達ね
- ・ ワンピース 和の国を見て 感動だ
- ・ はやすぎる あつというまの 4年間
- ・ 頂上へ 道なき道を 切り開く
- ・ 4年間 必ずかったことは テストです
- ・ お前らと 過ごした日々は 宝物
- ・ かえりたい ときもあるけど たのしいね
- ・ こんにちは オールオプブー グッドバイ
- ・ 別れの季 心に花咲き 四年の歩
- ・ 金ほしい 働きたくない 金ほしい
- ・ 4Lの 田中ケンジは 最強だ
- ・ 褒め気分 卒業したいが したくもない
- ・ 春がくる 入校から もう4年
- ・ 4年間 楽しかったよ 加茂高校
- ・ 君らには 鮮やかな未来 祈っている
- ・ 定期試験 勉強しても 大差なし
- ・ ゆきふると ハシヤグ人らが おもしろい
- ・ 高校生 テスト勉強 頑張った
- ・ 僕たちは もうじき卒業 ありがとう
- ・ 方々に 残った消し跡 夢の跡
- ・ おつかれた がんばったよね ありがとう
- ・ うんてんは たのしみよりも きをつける
- ・ 高校は 自分にとって むずいです。
- ・ 4年間 長かったけど 一瞬だ
- ・ 全員で 思い出つくれた 文化祭

定時制課程のホームページはこちらからご覧いただけます。



職員より卒業生に向けてのメッセージを贈ります。

- ・ 卒業おめでとう。みんなよく頑張ってくれました。今後の活躍を期待しています。(森川)
- ・ 卒業おめでとうございます。皆さんの人生が豊かで幸せでありますように！(高水)
- ・ 卒業おめでとうございませう。出会いが人生を作るので、周りの人を大切に、感謝しながら自分の人生を歩んでください。(田村)
- ・ 至誠而不動者、未之有也。(田口)
- ・ 卒業する皆さんの将来が幸せいっぱいでありますように。(天野)
- ・ 卒業おめでとう！社会人としての自覚や責任のある大人になってください。(武藤)
- ・ 戦うことはもちろん大切ですが、何よりも自分を大事に！楽しく生きることを忘れないでください！(塚田)
- ・ いくつもの日々を越えてきたどり着いた今がある。だからもう迷わずに進めば良い、栄光の架け橋へと。(箕浦)
- ・ 卒業おめでとう！安全運転 健康第一で頑張ってください。(渡辺)
- ・ Congratulations! Boys and Girls. Be ambitious! (木村)
- ・ 1分一秒、全ての時間に意味がある。時間を大切に！！(田端)
- ・ 卒業おめでとうございます。自信を持って様々なことに挑戦して行ってください！(山本)
- ・ 卒業おめでとう！一人から受けた恩を忘れずに謙虚にたくましく生きていこう！(佐藤)
- ・ いつも勝利する人は、偉大ではないが決して落胆しない人(間田)
- ・ 卒業おめでとう！これからも前向きに、素敵な大人になれるよう頑張ってください。(星野)
- ・ どんな山でも その頂上にしか 眺められないキレイな景色がある (バクシカン) (橋本)
- ・ Be ambitious. You can do. (卒業おめでとう) (橋本)

鏡開き (1月9日)

三学期始業式の日にごんごんを生徒全員でいただきました。今年も無事に過ごせましたようにとの思いを込めて準備しました。焼きたてのお餅を入れ、おいしくいただきました。一年生の中には、初めてぜんざいを食べるという生徒もおり、日本の文化に触れる良い機会となりました。



球技大会 (1月19日)

OSボウルにて、冬季球技大会が行われました。四年生にとっては最後の球技大会となりましたが、どのグループも最高の笑顔が見られ、卒業前に素晴らしい思い出を作ることができました。他の学年でも、この一年で培われた団結力が見られ、競技だけでなく後片付けなどを協力して行う姿が見られました。



部活動等報告



ボート部

★国際大会出場 アジアジュニアローイング選手権大会
タイ・パタヤ (12/14～18)
アジア2位 兼松 万緒 (日本代表・女子クオドルブル)
アジア4位 成瀬瑞太郎 (日本代表・男子ダスルスカル)

★全国高等学校選抜大会出場決定

静岡県浜松市 (3/20～24)
男子舵手付きクオドルブル (永井・近藤・小栗・池戸・岡本)
女子舵手付きクオドルブル (渡邊・嶺南・猪野・梶・小林)
女子ダスルスカル (板津・井本)

ソフトボール部

★全国高等学校選抜大会出場決定 山口県宇部市 (3/22～)

- ▼ボート部 アジアジュニアローイング選手権大会
▼ソフトボール部 県大会出場
▼バレーボール部 県大会出場
▼卓球部 県大会出場
▼剣道部 県大会出場
▼柔道部 県大会出場
▼吹奏楽部 県大会出場
▼美術部 県大会出場
▼文芸部 県大会出場
▼演劇部 県大会出場
▼音楽部 県大会出場
▼自然科学部 県大会出場
▼読書感想文コンクール入賞者
▼校内読書感想文コンクール入賞者



1月21日(日) 少年野球教室開催 (加茂野ファイターズ)

- ▼バレーボール部 女子
▼卓球部
▼剣道部
▼柔道部
▼吹奏楽部
▼美術部
▼文芸部
▼演劇部
▼音楽部
▼自然科学部
▼読書感想文コンクール入賞者
▼校内読書感想文コンクール入賞者

- ▼バレーボール部 女子
▼卓球部
▼剣道部
▼柔道部
▼吹奏楽部
▼美術部
▼文芸部
▼演劇部
▼音楽部
▼自然科学部
▼読書感想文コンクール入賞者
▼校内読書感想文コンクール入賞者

- 第40回中部日本個人・重宝コンテスト(個人の部)
第40回中部日本個人・重宝コンテスト(個人の部)
第40回中部日本個人・重宝コンテスト(個人の部)
第40回中部日本個人・重宝コンテスト(個人の部)
第40回中部日本個人・重宝コンテスト(個人の部)

1年生地域連携探究活動
12月7日(木) 普通科では、地域連携探究活動として「地域の大人と語る会」を実施しました。
研究開発、政治、農業、IT、医療、教育の6つのテーマに分かれて、各クラスの代表者が事前に調べた地域の課題解決策を発表し、質疑応答で交流を行いました。その後、講師の方から現場での取り組みを通しての生の声を聴かせていただき、質疑応答を通して理解を深めました。
進路について考えを深めるとともに、ChatGPTを活用した事前調査から、プレゼン準備など、探究の手法についても多くを学ぶことができました。

2年生修学旅行

今年は何年ぶりに、北九州三泊四日の修学旅行へ行くことができました。北九州の修学旅行の目的として、平和教育、体験学習、文化体験などがあります。長崎は被爆体験を乗り越えてきた町であり、長崎原爆資料館での見学と小峰さんの被爆体験講話では、被爆による生命や健康への被害だけでなく、その後の被爆者に対する差別・いじめの経験をお聞きし、それぞれの人が考えさせられました。被爆された語り部の方も高齢となり、少なくなっているため、講話を聴くことができる貴重な機会でした。また、長崎の町は世界遺産に指定されている施設等が各地にあり、市内研修で歴史・文化を学ぶことができました。ハウステンボスではオランダの雰囲気になり、ペーロン体験、クラス別研修では海に関する体験を満喫することができました。

学校を離れて仲間と過ごす時間は大変貴重であり、平和や異文化について考える有意義な旅行となりました。

主な行程

- 第1日(10月24日) 長崎原爆資料館 被爆者体験講話
- 第2日(10月25日) 平和祈念公園 長崎市内研修 ハウステンボス
- 第3日(10月26日) ペーロン体験 クラス別研修 (軍艦島・遊覧船) ハウステンボス
- 第4日(10月27日) 門司港レトロ口地区



1年生校外研修(高山)

10月25日(水) 1年生は校外研修で高山市を訪れました。現地ではさわやかな秋晴れの中、班別研修で小京都と例えられる趣のある街並みを散策しながら、文化や歴史を肌で感じました。また、名物のみたらし団子や飛騨牛串焼きなどを楽しみながら、仲間との交流を深めることができました。

普通科では、総合的な探究の時間で高山についてのテーマ研究を計画し、現地でインタビュー調査も行いました。調査結果は後日まとめてクラスごとに発表しました。



編集後記

本年度も終わりに近づくと、一月一日に被災された能登半島をはじめ日本海沿岸部の皆様には一日も早い復興をお祈り申し上げます。

三年生の皆さんは卒業を迎えられ、新たなステージへと向かわれると思います。改めて自分という存在が尊く、いかに多くの方々に支えられてきたのかを鑑みる良い機会かと思えます。普通という言葉は一般的に使われていますが、実は普通とは凄いことなんだと弱地に立たされた時に感じたりします。普通で十分、自分らしく前進してください。

この一年、広報部長として貴重な経験をさせていただきましたことに感謝します。ありがとうございました。

(広報部長 林 尚孝)

